

2024 年度 AG種目「ユース」男女混合シングル部門（規定演技）の審査ガイド

2024年度版

JAF 審判委員会

1. 主任審判員が加点を実施する課題動作について（★＝指定動作、○＝選択動作）

■グループA

★	A101	プッシュ・アップ	0.1	
★	A122	ウエンソン・プッシュ・アップ	0.2	
★	A212	ストラドル・サポート	0.2	
○	A202	L-サポート	0.2	
	A245	または V-サポート	0.5	

■グループB

★	B403	1/1 エアー・ターン	0.3	
○	B502	タック・ジャンプ	0.2	
	B533	または コサック・ジャンプ	0.3	

■グループC

★	C801	バーティカル・スプリット	0.1	
○	C702	1/1 ターン または	0.2	
	C704	2/1ターン	0.4	

■倒立

○	倒立	+1.0
---	----	------

2. 主任審判員による審査内容

※実施審判員は、課題動作/選択エレメントを含む全ての動作について審査する

	課題動作/選択エレメント	主任審査
1	○ターン C702 1/1 ターン (0.2) または C704 2/1 ターン (0.4) どちらかを選択	難度エレメントの審査
2 3	★倒立 (Y字バランス)	Y字バランスを選択した場合、主任の加点にはならない
4	○ジャンプ① B502 タック・ジャンプ (0.2) または B533 コサック・ジャンプ(0.3) どちらかを選択	難度エレメントの審査
5	AMP シークエンス①	
6	★C801 パーティカル・スプリット	難度エレメントの審査
7	★側転 (移行動作/つなぎ)	
8 9 10	AMP シークエンス②③④	
11	移行動作/つなぎ	
1 2 1 3	○サポート① A212 ストラドル・サポート (0.2)	難度エレメントの審査
1 4	★A101 プッシュ・アップ(0.1)	難度エレメントの審査
1 5	AMP シークエンス⑤	
1 6	○ジャンプ② B403 1/1エアー・ターン(0.3)	難度エレメントの審査
1 7	AMP シークエンス⑥ (自由に創作)	
1 8	移行動作/つなぎ (自由に創作)	
1 9	★A122 ウエンソン・プッシュ・アップ	難度エレメントの審査
2 0	○サポート② A202 L-サポート(0.2) または A245 V-サポート(0.5) どちらかを選択	難度エレメントの審査

3. 実施審判員による審査内容

「JAF エアロビック・ジムナスティックス競技・採点規則 2022-2024」に従い、全ての動作を対象に実施減点を行い、実施点を採点する。

<倒立に関する実施減点について(確認事項)>

倒立における実施減点に関して ※ 倒立は保持することが原則。		
小欠点	-0.1	倒立として2秒間程度の保持はあるが、完璧な実施度から少し逸脱。
中欠点	-0.3	倒立として2秒間程度の保持はあるが、完璧な実施度から大きく逸脱。
不可	-0.5	ある程度のコントロールはされているが、明確な倒立が2秒間程度保持されていない。間違った技術で実施していて、倒立の認識が出来ない。複数の欠点。
落下	-1.0	完全にコントロールを失ってフロアに落ちる。または完全にコントロールを失って着地する。

4. 構成図

2023～ユースJ男女混合シングル部門 構成図

